

地区名 男鹿市・潟上市・南秋田郡

所在地 男鹿市戸賀塩浜

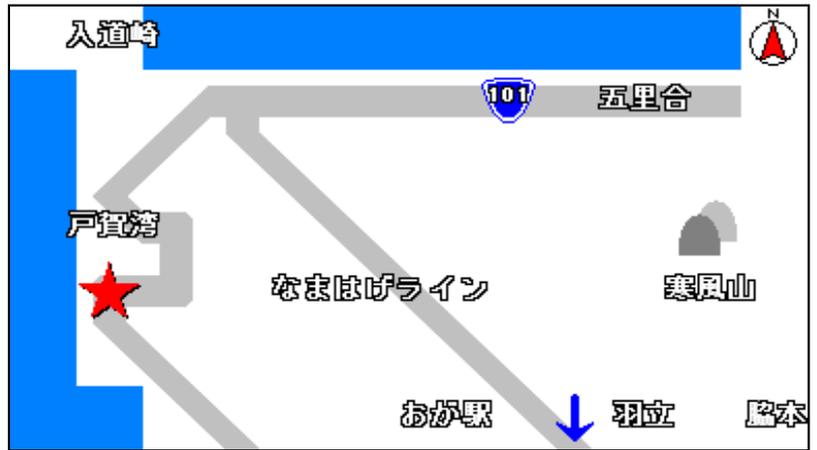
バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ ○ **火山のはたらき**

露頭までの道のり

男鹿水族館GAO付近一帯が観察場所となる。観光地であるので、道路整備が年々進んでいる場所である。

安全上の留意点



岩場であるため、肌を露出した服装は厳禁である。また、一帯が同じ岩石であるため、道路近辺で十分観察が可能。岩場を渡って遠くまで行く必要がないことを児童には説明しておいた方がよい。海沿いの観察場所共通だが、地震があった際には常に津波を念頭におくこと。

観察のポイント

- ①周囲一帯に火山活動によって噴出した溶岩が見られること。
- ②溶岩の硬さや緻密な構造、砂岩・泥岩などとの違いを知ること。

地質年代

古第三紀漸新世(3200～3400万年前)

解説

門前層と呼ばれる陸上で噴出した溶岩(流紋岩質)が観察できる。また、観察場所を概観すると、所々に周囲とは色の違う岩が平行に入っている場所もある。これは、岩脈と言われ、地下の割れ目にそって出てきた安山岩質の溶岩である。この岩脈は、周囲の門前層より若く2000万年前頃の年代を示す。いずれにせよ、この周囲一帯に火山活動によって形成された溶岩が見られ、砂や泥など水の底に堆積した層がないことから火山のはたらきであると判断できる。

露頭概観

指導形式

B



駐車場から水族館に向かうところに大きな岩塊がある。これが門前層と呼ばれる流紋岩である。白っぽく、緻密な構造をしている。



門前層(流紋岩)に安山岩が貫入しているところの拡大写真。岩場でもよく観察すると年代や種類が違うことを気づかせてくれる。



岩ばかりだが、なぜ岩ばかりなのか考えることで、私たちの住む大地の歴史を考えることへと誘うことができる。